

専門性備えた教養人育成へ

超成熟社会発展のサイエンスを語る 鶴岡で慶應大オープンセミナー

「超成熟社会発展のサイエンスを語る」をテーマにした慶應義塾大のオープンセミナーが23日、鶴岡市岸寺の鶴岡メタボロームキヤンパスで開かれ、多面的に思考できる、専門性を備えた教養人の育成について考えた。



同大は社会が大きく変化している中、超成熟社会で活躍できる人材の育成を目指し、大学院の文系、理系、医療系など様々な分野から選抜された学生を対象に2012年度から、博士課程教育リーダー養成プログラムを取り組むをスタート。毎年この時期、集中講義の形でサマーカーキヤンパスを開き、今回は同大の岡市で「鶴岡サマーカーキヤン」を開催。同市が共催し、一般にも公開したセミナーとして企画した。

この日は学生や一般など約60人が参加。初めにリーダー養成プログラム責任者の長谷山彰慶義塾常任理事が「リーディング大学院教育が目指す人材像―スペシャリストかジェネラリストか―」と題し基調講演。長谷山氏は現在の教養教育について「入門やつまみ食いではなく、専門分野以外の方法論や思考形式、世界観を理解するための奥深い営

みであるべき」と説明。その上で、専門性を備えた教養人として、▽本質を見抜く洞察力▽解決法を発見する想像力▽自国の歴史を世

界に向けて伝える発信力▽異文化の違いを乗り越える交渉力▽普遍的な倫理観の育成が必要とした。

「鶴岡サマーカーキヤン」が23日、鶴岡市の鶴岡メタボロームキヤンパスで開かれ、慶應大の教授らが「超成熟社会発展のサイエンスを語る」をテーマに講演した。写真

「鶴岡サマーカーキヤン」が23日、鶴岡市の鶴岡メタボロームキヤンパスで開かれ、慶應大の教授らが「超成熟社会発展のサイエンスを語る」をテーマに講演した。写真

「鶴岡サマーカーキヤン」が23日、鶴岡市の鶴岡メタボロームキヤンパスで開かれ、慶應大の教授らが「超成熟社会発展のサイエンスを語る」をテーマに講演した。写真

「鶴岡サマーカーキヤン」が23日、鶴岡市の鶴岡メタボロームキヤンパスで開かれ、慶應大の教授らが「超成熟社会発展のサイエンスを語る」をテーマに講演した。写真

「超成熟社会」のリーダー育成へ 慶大がセミナー



「鶴岡サマーカーキヤン」が23日、鶴岡市の鶴岡メタボロームキヤンパスで開かれ、慶應大の教授らが「超成熟社会発展のサイエンスを語る」をテーマに講演した。写真

セミナーには市民約60人が参加した。長谷山彰・慶應義塾常任理事が、同プログラムの目指す人物像について基調講演。山中直明・理工学部教授がIT技術で電力供給を管理するスマートグリッド(次世代送電網)を活用したビジネスモデルについて、大西公平・理工学部教授が触覚を通信する技術を用いたロボットについてそれぞれ講演した。

オープンセミナー

8月23日(土) 14:00 - 15:45

14:00 開会挨拶 神成先生

14:10 基調講演「リーディング大学院教育が目指す人材像 ―スペシャリストかジェネラリストか―」

長谷山先生

14:40 講演「超成熟社会を発展させる新しいスマートネットワークの未来」 山中先生

15:10 講演「やわらかいロボットの時代 ～超成熟社会を発展させる新技術～」 大西先生

15:40 閉会挨拶

新聞掲載

2014年8月24日

山形新聞

18面